

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム課

担当名: 住基ネット・マイナンバー担当

内線: 2294

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B16	番号制度基盤整備事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費		
事業期間	平成26年度～	根拠法令	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律	宣言項目			分野施策	061351 ICTを活用した県民の利便性の向上		
1 事業の概要 番号制度導入に伴い整備が必要な基盤システムである統合宛名システムを運用するとともに、情報連携への対応支援、庁内における個人番号の適切な取扱いの周知徹底、市町村への支援、県民・事業者への制度周知を図る。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 統合宛名システムの運用 18,274千円 イ 総合運用テスト・制度導入対応支援 22,408千円 ウ 中間サーバー交付金 8,069千円 エ 特定個人情報保護評価の実施 224千円 (2) 事業計画 ア 統合宛名システムの運用保守を委託する。 イ 情報連携に係る対応支援や庁内研修、県民・事業者への説明会を行う。 ウ 自治体中間サーバーの管理に関する事務を地方公共団体情報システム機構に委任する。 エ 個人番号を取扱う事務の特定個人情報保護評価書について、有識者による第三者点検を実施する。 (3) 事業効果 ア 番号制度を導入・運用することにより、社会保障や税、防災に係る事務については、申請・届出のあった住民の所得等の情報を当該システムの情報連携により他団体から取得することができるようになり、従来の照会業務と比べ、業務の効率化が見込まれる。 (4) その他 前年度からの変更事項 ア 中間サーバー負担金から交付金に移行。 イ 平成30年7月にデータ標準レイアウト改訂される。 ウ 平成31年度から新たに情報連携が開始される事務で総合運用テストを実施する。 (5) 補正予算の概要 ア 統合宛名システムの運用：統合宛名システムの改修が発生しなかったことに伴う減。 イ 総合運用テスト・制度導入対応支援：支援委託料の入札差金発生に伴う減。 ウ 中間サーバー交付金：交付金額が当初見込みから減額されたことによる減。						
2 事業主体及び負担区分 (1) (2) (3) (4) (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 (3) の運用・保守に係る経費について普通交付税措置あり(単位費用算定)										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円										
				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額	
予算額										
決定額	△19,561								△19,561	29,414
現計額	48,975								48,975	